

「民主主義」を取り戻すために

連日国会正門前で「戦争法案廃止」「安倍退陣」と多くの市民が声をあげましたが、9月19日2時18分戦争法案は強行採決されてしまいました。(施行は3/31まで)。

10月5日からは12桁のマイナンバー(共通番号)が通知カードに記載され各世帯に送付され、一つの番号であらゆる個人情報を一元管理する“国民総背番号制”のマイナンバー制度が始まろうとしています。

国民の民意を無視し「自分の決めたいことは勝手に決める政治」を遂行する安倍政権がやっている事は

「国家安全保障会議設置」「特定秘密保護法」「集団的自衛権行使容認と武器使用の権限拡大の閣議決定」「日米新ガイドライン」「安全保障関連法11法案(戦争法)」「防衛装備庁設置=武器輸出禁止3原則の廃止」「共通番号利用拡大改正法」「辺野古新基地建設工事の強行」といった戦争する体制づくり。

更に「川内原発再稼働」「TPPへの参加」「マネタリーベースで350兆円の金融緩和」「派遣法改悪・残業代ゼロ法案」と21世紀の新しいエネルギー産業も新しい経済構造も生み出せず、これまで以上に新自由主義のグローバル企業に日本の国民も資源も売り渡す施策のオンパレードが続いています。

円安と金融緩和でグローバル企業は史上最高の利益をあげているが、非正規雇用は40%に達し、国の借金は1000兆円を突破。子どもの貧困率は16.3%と格差と貧困は更に深化…絶望的状况です。まさにナオミ・クラインが言うところの“ショックドクトリン”状況。

このような状況の中、国会前で、そして全国の各地域で自づからの意思で声を上げ始めた大学生・高校生・ママ・女性・高齢者・学者が発した“民主主義って何だ、これだ!”“立憲主義って何だ、これだ!”の中からこれからの新しい日本の社会を築いていく芽を探し出していかなければ・・・

まず私たちの目の前にある戦争法制、共通番号制等について問題点を明らかにしていきたいと思います。

9/19採決された戦争法案は、そもそもその根拠たる閣議決定が憲法違反であり新ガイドラインは日米安保条約を逸脱したものであるがゆえに憲法違反そのものです。最高裁判所元長官も憲法学者も内閣法制局元長官も元防衛官僚も明らかに憲法違反と指摘する内容の法案が国会で審議されること自体異常なこと。すでに日本の民主主義は腐り始めています。

日本が攻撃された時の法律「武力攻撃事態法」の中に、“日本と密接な関係にある国が攻撃された時、それが我が国の存立を脅かし国民の生命・自由・幸福追求権が根底から覆される”と判断される時は“存立危機事態”なので集団的自衛権を行使できると記載しました。

集団的自衛権の根拠を、「絶対に認められない」と記載されている1972年の政府見解から導き出しているのです法的安定性はなくなってしまうと批判されると、法的安定性などいらないと言うのが安倍政権です。(裏へ)



11の法案の大部分を占める“後方支援”は兵站であり明らかに「武力の行使」と一体であることは世界の常識。だからこれまでの自民党政府ですら「自衛隊のいるところは非戦闘地域」と言わざるをえなかった。今回はそれらの制限はなし。「周辺事態」も「重要影響事態」と変えて平時からいつでもどこでも地球の裏側まで自衛隊を後方支援に送ると言う。9条をどう読んでもこれは認められないと言ってきたのは歴代の自民党政府だったのにです。

理屈も民意も人々の声も聞く耳を持たない安倍政権の暴走は“沖縄辺野古の新基地建設”への強硬策にも表れています。辺野古は普天間の代替ではなく4万tの揚陸艦も接岸できる軍港をつくり弾薬装填エリアも造る新基地そのものなので知事・県議会・県民がオール沖縄で反対。



翁長知事が「埋立て許可を取り消す」と言ったら、沖縄・住民の抗議行動への弾圧防衛局が「国も私人です」と言って行政不服審査を主張する安倍政治は、「私が法律です」と言わんばかりの行動を繰り返しています。

マイナンバー制度も同様です。社会保障と税と災害に利用を限定して始めると言っていたのに、施行する前に医療情報（特定健診・予防接種）、金融情報（預金口座）にマイナンバーを使う改正法を通してしまいました。そして6/30閣議決定された「世界最先端IT国家創造宣言」では2020年のターゲット年にむけて戸籍から健康保険、旅券事務、クレジットカード、ポイントカード等に個人番号カードを使ってマイナンバーと紐付けすると。オリンピックの入場チェックにも使う予定です。まさに番号での国民管理とそのビッグデータをグローバル企業に自由に活用させるために私たちは番号で管理されるのです。（牛は狂牛病対策の為10桁で管理）

これだけ問題のある安倍政権への支持率は、9/19に35%に落ちましたが今は41%です。・・・なぜ？ヒトラーはドイツ国民の多数の支持を得ながら政権を奪取していきました。民主主義と独裁との違いはどこから・・・？

シルズの大学生は、民主主義とは「オカシイことはオカシイと言う」「同調圧力の風に屈せず」「組織のトップの指示ではなく自分で考え、自分で判断し自分で行動する」と言う。

日本のマスコミはかつて大戦時、情報統制されて（して？）「満蒙は日本の生命線」と言った。今度は何を「日本の生命線」と言うのだろうか。自覚のない自づからの立ち位置を中立と言う延長に何があるのか？

戦争法制廃止にむけた運動が辺野古新基地反対の沖縄の闘いとどう連携できるのか？テロ対策・領土問題の課題の中で戦争法制廃止をどう訴えていけるのか？日本の民主主義が本物かどうかが問われています。

一人一人の力は弱くても止めなければ続くのです。続けましょう「イヤなことはイヤだ」と！本当に民主主義の社会をつくるため。